

学年	高校1年	教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2
教科書名	高校生の地理総合（帝国書院）			副教材名	基本地図帳（山川出版） 新詳地理資料 COMPLETE（帝国書院） 高校生の地理総合ノート（帝国書院）		
コース クラス	中高一貫クラス						

## I. 目標

1. 地理におけるさまざまな諸事象を多角的かつ的確に捉えるために、地図や各種資料を用いて効果的な地理力を養う学習を行う。
2. 世界の多様な生活文化の違いを理解するために、地形・気候などその地域の自然環境、農業や鉱工業をはじめとする産業構造を歴史的背景も含め、地理的視点を養う学習を行う。
3. 地理の諸事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、自国の国土や自然に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。
4. 模試での得点力と日本大学基礎学力試験や上位私大の入試問題に対応できる実力を身に着ける。

## II. 授業のねらい

1. 探究学習との結びつきを意識しながら、着眼点・探求力・解決力を養う。
2. 地理を通じた視点から政治、経済、国際関係、文化生活、地球科学等の幅広い素養を身に着ける。
3. 暗記のみに終わらず、理論的考察から理解する地理力を養う。

## III. 授業の進め方

1. 受験を意識した過去問を授業の理解度に応じて提示し、地理において必要な事項を確認する。
2. 地図から得られる情報を大切に、地図を読めるように毎時積極的に使用する。
3. 2年次以降の地理探究と受験を視野に入れた情報を提供し、学期毎に小テストを実施しつつ知識の定着を図る。
4. 授業内で適宜大学入試問題や模試などを扱い、問題演習をおこなう。
5. これまでの中学行事や宿泊行事と結びつけて自然地理の内容を理解させる。

## IV. 学習上の留意点

1. 授業プリントを使用するが、教科書・地図帳等の教材準備は確実にすること。
2. 授業の復習を重視し、学習した内容はその日のうちに確認する。
3. 興味をもって授業に参加し、自分の経験等に結び付けて学習すること。

## V. 定期試験

- |           |                                         |
|-----------|-----------------------------------------|
| 1学期 期末試験  | : 地図や地理情報システム 世界の民族と言語 世界の地形（大地形・多様な地形） |
| 2学期 中間試験  | : 世界の植生と気候                              |
| 2学期 期末試験  | : 農業 工業 地球環境問題 資源エネルギー問題 人口問題 食料問題      |
| 3学期 学年末試験 | : 居住・都市問題 民族問題 日本の自然環境 防災 世界の地形(自宅学習課題) |

## VI. 評価の方法

各定期試験、学期毎の小テスト、各種課題の提出状況や出席した授業参加の状況等を総合的に判断して評価する。

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	第1部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界	小テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。</li> <li>・地図や GIS を用いて、情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。</li> <li>・一般図と主題図の目的や用途を理解し、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察する。</li> <li>・地域による多様な文化・慣習の違いと、その背景にある民族性、宗教性を考察して理解する。</li> <li>・多様な文化の違いの背景にある自然環境や歴史的背景、社会環境を理解する。</li> <li>・自国のみでなく他の文化をも尊重し、国際理解を図ることの重要性などについて理解する</li> <li>・多様な習慣や価値観を持っている人々と共存していくことの意義を理解する。</li> <li>・地球の構造と大地形・小地形の形成を理解し、人間活動や自然環境との結びつきを考察する。</li> </ul>
	5	第2節 地図と地理情報システム		
	6	第2部 国際理解と国際協力 第1節 世界の地形と人々の生活	小テスト 期末試験	
	7			
一学期	9	2節 世界の気候と人々の生活	小テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気の大循環によって生じる気圧帯を知り、降水・気温の地域的（緯度上）差異から気候区分を理解する。</li> <li>・ケッペンの気候区分を理解する。</li> <li>・雨温図とハイサーグラフを理解する。</li> <li>・農業や工業の立地条件を様々な要素から考察する。</li> <li>・近代農業の種類と自給的農業と輸出を前提とした企業の農業の存在と、アグリビジネスの世界展開を理解する。</li> <li>・資源の一次産品と工業生産のグローバル化を理解する。</li> <li>・産業革命以降に進行しているさまざまな環境問題を学び、それぞれが相互に関連し合っていることを理解する。</li> <li>・環境問題の解決には、複数の立場や意見があることを理解した上で、持続可能な社会の実現に向けてどのような協力が必要かを考察する。</li> <li>・資源の偏在性と資源ナショナリズムを理解する。</li> <li>・原発の問題と新しいエネルギーの現状を理解する。</li> <li>・途上国の多産多死から先進国の少産少死のメカニズムを理解し、将来における我が国の人口問題を考察する。</li> <li>・国際的にどのような食料問題を抱えているかを理解し、その要因について考察する。</li> <li>・途上国の食糧不足と先進国の飽食の背景を理解し、我々がどのように取り組むことで解決できるかを考察する。</li> </ul>
	10	3節 世界の産業と人々の生活		
	11	第2章 地域的課題と国際協力 1節 人口問題	中間試験	
	12	2節 食料問題		
		5節 資源・エネルギー問題	小テスト	
		6節 地球環境問題		
二学期	1	4節 世界の言語・宗教、歴史的背景と人々の生活 第2章 地域的課題と国際協力	小テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市への人口集中と地方の過疎化を踏まえ、世界各地でおきている都市問題を理解する。</li> <li>・世界の民族問題を理解し、なぜ民族問題が起こるのかその歴史的背景を考察する。</li> <li>・地球的課題の解決には、各国の取組や国際協力が必要であることを理解する。</li> <li>・日本の自然環境（地形、気候など）を理解し、過去の災害を学ぶことで被害を防ぐためにどのような取り組みが必要かを考察する。</li> <li>・災害を引き起こす自然現象と社会的な脆弱性との関係を踏まえて、地域の防災の在り方を考察する。</li> <li>・自然災害に関する一般的な知識を身に付けた上で、自然災害を自分事としてとらえて防災意識を高める。</li> </ul>
	2	6節 都市居住問題 第3部 持続可能な地域づくりと私たち		
	3	1節 自然災害と暮らし	期末試験	
		2節 日本の自然環境		
		3節 地震・津波や火山活動による災害と防災		

## VII. 授業計画

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の状況により変更することもある。